

2 0 2 1 年 度

事 業 報 告 書

鎮 西 学 院 本 部

鎮 西 学 院 幼 稚 園

鎮 西 学 院 高 等 学 校

鎮 西 学 院 大 学

学校法人 鎮西学院

長崎県諫早市西栄田町 1212 番地 1

学 院 本 部

鎮西学院 2021 年度事業報告

建学の精神・鎮西学院の目指す人間像

1881 年（明治 14）鎮西学院は、北アメリカメソジスト監督教会から派遣された宣教師 C.S.ロングによって、長崎市東山手に設立された。生徒 12 名と教師 4 名からスタートした学院は、今や幼稚園・高校・大学までを擁し、卒業生の総数が 2 万人を超える総合学園に発展した。140 年という長い期間には、原子爆弾による被爆を経験し、また災害にも遭遇した。しかし鎮西学院は常に望みと信仰を棄てず、神への信頼をおく者の強さを発揮して今日に至っている。

少子高齢化や国際化など、今、教育をめぐる環境は時代とともに変化し、私学のあり方もその根本が問い直されている。しかしそのような状況にあっても、創立者 C.S.ロングの教えである Be Christian Gentlemen!（キリスト教精神をもった紳士たれ）という建学の精神は、創立 140 年を迎えた現在でも生きており、クリスチャン・マインドを持った教養人を育むことは、学院の創立意義でもある。将来とも変わることのない鎮西学院にとっての真理である。

川崎升元院長が提唱した「敬天愛人」のスクールモットーは、戦時下の学院を閉校の危機から救った。「敬天愛人」のスクールモットーは、鎮西学院に連なる多くの人々の基本的な生き方の姿勢であるといっても過言ではない。

事業の概要

(1) 2021 年度目標聖句

わたしは知った
すべて神の業は永遠に不変であり
付け加えることも除くことも許されない、と。
神は人間が神を畏れ敬うように定められた。
今あることは既にあったこと
これからあることも既にあったこと。
追いやられたものを、神は尋ね求められる。

コヘレトの言葉 3章14～15節（新共同訳）

(2)事業の概要

【概況】

2021年度は、鎮西学院全体の5ヵ年(2018-2022年度)の中期計画の4年目にあたり、理事会のガバナンスとリーダーシップの強化のもと、引き続き、幼稚園、高等学校、大学の各部門の連携と一体感の醸成に努めるとともに、歴史あるミッションスクールとして培ってきた国際交流・地域連携ネットワークを最大限に発揮し、未来の地域社会で、その担い手となる園児・生徒・学生たちの育成を目的とした特色ある教育研究事業を展開してきた。

当年度はまた、創立140周年にあたる年であったが、コロナ禍のため、予定していた記念事業は、すべて延期となった。前年度に引き続き、幼稚園、高等学校、大学、すべての部門で、新型コロナウイルス感染症への対応に教職員を挙げて奔走する1年であった。大学、高等学校、幼稚園も含めすべての学事日程が変更を余儀なくされた。

また、学院経営に永年尽力いただいた栗林英雄氏が1月末をもって理事長を退任され、重松史郎理事が新たな理事長に選任された。

大学は、「長崎ウエスレヤン大学」から「鎮西学院大学」へと名称変更を行った。前年度の就職実績と相まって、定員を超える入学者を獲得することができた。修学支援の面では、コロナ禍での対面とオンライン併用による変則授業に全学を挙げて取り組んだ。年度末には派遣留学を再開することができた。また、学生の物心両面での支援に地域の協力を得ながら取り組んできた。また、懸案であった耐震補強工事を完了することができた。文部科学省「就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業」として、ドローンビジネスや農商工連携ビジネスに従事する社会人の学び直しプログラムが採択された。

高等学校では、コロナ禍にもかかわらず、5年連続で収容定員を超える在学生数となり(949人)、県内93公私立高校で2番目の規模となった。教育の重点項目として、幅広くて確かな進路保障、盛んな部活動、グローバル化の推進、ICT化の推進、キリスト教教育の5つの柱を立て取り組んできており、特に当年度は、の部活動で、高校総体で優勝旗5本獲得(卓球男子・卓球女子・サッカー女子・バスケット女子・バレー男子)など、史上最高の成績を収めた(県内最多)。

幼稚園においては、新型コロナウイルス感染症感染予防対策に十分配慮しつつ、キリスト教保育の充実に取り組んだ。また認定こども園への移行と、それに伴う新園舎建築計画の実現に向け、検討を開始した。

【鎮西学院 経営改善計画】

2017 年 11 月の文部科学省・学校法人運営調査の結果、2018 年度から 2022 年度の 5 カ年の新たな経営改善計画を策定し（2018 年 6 月理事会決定）、目標達成に向けた進捗管理に取り組むこととなった。

この経営改善計画の最終年度における財務上の数値目標は、次の通りである。

目標 経営判断指標：現状 D2→ 計画 3 年目 B0 → 最終年度 A3

目標 教育活動資金収支額の黒字化とその維持

現状 △189 百万円 → 計画 3 年目以降 黒字化

目標 受入学生数：

大学の入学者数：計画 3 年目は定員の 90%（126 人）以上

計画最終年度 95%（133 人）以上を確保

大学の在籍学生数：計画 3 年目は収容定員の 80%（464 人）以上、

計画最終年度は 95%以上（551 人）を確保

（系列校からの内部進学率 20%以上、高校新卒者 100 人以上、留学生 40 人以上）

日本語教育プログラム留学生 2018（H30）以降每学期 50 人

計画 4 年目にあたる 2021 年度の目標達成状況としては、上述したとおり、大学における学生募集の回復傾向、高校・幼稚園における安定的な定員確保により、前年度に引き続き教育活動資金収支差額が黒字化する結果となったが、経常収支差額の黒字化という目標には届かなかった。経営判断指標としては、昨年度に引き続き「B0」段階となった。

鎮西学院幼稚園

2021年度 鎮西学院幼稚園「事業報告」

2022年5月26日

キリスト教保育を中心として子ども達を育む

「子ども達を私のところに来させなさい。妨げてはならない。

神の国はこのような者たちのものである。」

マルコによる福音書 10章 14節

～子どもは神様から預かった大切な存在～

この聖句のように、子ども達一人ひとりを大切にしたい教育を行った。

教育（保育）の基本方針

幼児における教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものである。学校教育法第22条に規定する目的を達成するため、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本とする。

～教育にあたり重視すること～

幼児の「主体的な活動」を促し、幼児期にふさわしい生活が展開されるようにする。

幼児の自発的な活動としての「遊び」は、心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学習であるので、「遊び」を通して次の5領域 **健康 人間関係 環境 言葉 表現** のねらいが、総合的に達成されるようにする。

幼児の生活経験がそれぞれ異なることなどを考慮して、幼児一人一人の特性に応じ、発達の課題に即した指導を行うようにする。

- ・特別支援児（6名）、年少々途中入園児（14名）が多く、それぞれの発達段階や個性に合わせた指導を模索し、担任と補助教諭、また全教員間の共通理解を持って教育にあたった。コロナ禍ではあったが、療育機関との連携にも努めた。

「幼児期の終わりまでに育てたい資質・能力」を常に意識した教育活動の展開

- ・幼児期の終わりまでに育てたい10項目（幼稚園教育要領）を細分化した教育活動内容を意識して教育を行った。

健康な心と身体 自立心 協同性

道徳性・規範意識（ルールを守ろうとする意識）の芽生え

社会生活との関わり 思考力の芽生え 自然との関わり、生命尊重

数量・図形・文字等への関心・感覚 ことばによる伝え合い 豊かな感性と表現

（当園の教育の中でどのような活動がその力に繋がっていくかを考えた＝細分化）

①健康な心と身体

- ・5～6月健康診断（園医による視診、尿検査、歯科検診）
- ・毎月の身体測定（身長・体重出席ブックに記入）
- ・手洗い・うがい・消毒、クラスでの清掃活動など身辺を清潔にしようとする

- ・晴れた日には毎日外でのびのびと自分のやりたい遊びを楽しむ
- ・様々な運動用具を使った運動遊び
- ・プール遊び・運動会・マラソンなど行事を通して運動能力・体力を身につける
- ・コロナ予防対策に慣れ、自分の健康に関心をもち、自分の身体は自分で守る意識を持つ
- ・食育（きらきらクラブ、食物栽培や収穫、給食指導）
- ・年長児：フッ化物洗口を通じ、歯の衛生に気をつける

(1) 教学改革計画

保育料の無償化に伴い、満3歳入園希望が増えている状況にあるため、最大限を受け入れるよう努める。

- ・14名の満3歳入園を受け入れた。(定員10名)

◆保育内容の充実

- ・キリスト教保育（敬天愛人）の充実
- ・毎日、祈りをもってスタートし、「感謝」と「思いやり」の心を育むよう努めた。
- ・学院総宗教主事 鉄口先生、大学宗教主事 神田先生から、ピースチャペルで聖書のお話をしていただいた。保護者も自由に参加していただき、キリスト教に触れていただいた。
- ・前年度に引き続き、教諭が当番制でキリスト教保育について、問題提起や講話などを行い、よい学びの時を持つことができた。また、キリスト教保育連盟長崎地区会の研修も、久しぶりに対面で実施され、専任教諭7名全員で元熊本県知事 潮谷義子先生の講演を聞くことができた。
- ・学期に1回は、全教員が諫早教会での礼拝に出席するように努めた。

・年間保育計画 月案 週案

PLAN (計画) DO (実行) CHECK (評価) ACT (改善)

週案提出 ... 第2, 4火曜日 業務記録・運転日報の提出 ... 第1, 3火曜日

協議等の時間確保のため、毎日の終礼（連絡会）を有効に使う。

- ・コロナ感染者数の影響で、行事などの態度決定や内容変更により時間を要することが度々あり、終礼の時間が長くなるが多かった。

○進級時、新旧担任間で、書面だけでなく口頭で引継ぎを行った。

○自己評価を実施。

- ・各自1年間の振り返りを行うと共に、園全体で見直しが必要と思う点を記述。また、その意見について、全体で検討が必要な場合は職員会議で議題とし、改善すべきものは、実行した。

○短時間勤務の非常勤職員にも共通理解が得られるよう、連絡簿作成。全員が、目を通し細かい伝達不足を避けるようにした。

- ・非常勤の先生方との共通理解をするため、連絡簿の活用をした。また、預かり保育担当者と主任間で月1回連絡会を実施し、延長保育時の子どもの様子などの把握に努めた。

◆教職員研修の充実

- ・オンライン研修の機会も増え、各々自分の学びたい研修へ参加出来た。
キリスト教保育…17名、カウンセリング…1名、環境・SDGs…2名 絵画…7名
教育の基本…7名 特別支援…7名、コロナ禍での保育…1名 メディア…1名 等
- ・伝達講習も可能な限り、長期休業中などを利用し行った。

◆学院全体を意識した活動の展開

- ・「梅ジュース作り」、「お芋栽培」などは実施できた。
- ・コロナウィルス感染症予防の観点から、なかなか学院内の散策などは難しかった。
学院内の自然豊かな敷地を利用できなかったことは、保護者の幼稚園評価でも、残念だったという意見が出された。

◆園長の絵本の読み語り

- ・コロナ禍でも子ども達が楽しんでくれるよう、紙芝居劇場などを取り入れた。

◆鎮西学院140周年記念礼拝の実施

- ・ピースチャペルで、親子礼拝として140周年記念礼拝が実施できた。

(2) 園児募集対策と園児数・学納金等計画

◆在園児保護者への丁寧な対応

- ・送迎時や電話で子どもの様子を伝える、個人面談の実施など、保護者との連携に努めた。
- ・保護者からの意見・要望に対しては、園長・主任も加わり、ゆっくりと話を伺う面談をし、誠実な対応を行った。

◆幼稚園評価から見出した課題を、来年度の改善目標とする

- ・幼稚園評価実施。全体的に高評価。
- ・結果報告を行った。前年度、全保護者の意見を公表してほしいという要望があり、役員会でも相談した結果、実行した。ご意見については、職員会議で丁寧に検討し、すべてについて回答した。今後も保護者の方々の意見は真摯に受け止め、丁寧な対応をしていく。
- ・園舎・園庭遊具の老朽化など安全面の心配や、教員と保護者、また保護者間のコミュニケーションの場が少ないと感じるという意見があったため、2022年度は、コロナ対策をしながら、少しずつでも保護者間交流の場などを増やしていく。

園児数(定員100名)

	2017	2018	2019	2020	2021
4月(始業時)	82	76	90	83	79
3月(終業時)	92	85	100	96	96

◆園長だより発行

- ・17号発行。引き続き積極的に発行し、当園の教育方針を発信していく。

◆園だより・クラスだより・フォトレターを毎月発行

- 園だより（園長・主任）、クラスだより（担任）、フォトレター（フリー教員）。
- ・園生活の様子、園の教育方針・各学年のその月の教育目標などを知らせた。
- また、園にも掲示し、未就園児保護者などにも見ていただけるような環境作りを行った。

◆預かり保育の充実

- ・平均して毎日25名前後利用。
- ・長期休業中も年末年始・お盆を除き、ほとんど休みなく実施。
- ・コロナ禍においては、おやつの前の消毒の徹底。検温をし、健康状態に気を配るなどの配慮を行った。
- ・預かり保育で遊んでいる写真を掲示し、保護者の方に安心していただけるよう努めた。
- ・夏季休暇中に、園庭で全教員が関わり、ボディペインティングや色水遊びなどを「夏と遊ぼうデー」として実施した。

◆行事の充実と保護者会との連携推進

行事の計画的実践 ・全ての行事の起案を早めに ~個人力から組織力へ~

- ・行事の起案者を毎年変えることで、マンネリ化を防ぎ、よりよくなっていくようにした。
- ・起案を早めに行い、新しい意見に対応できる時間の余裕を確保した。

毎月の定例役員会を大切に

- ・保護者の立場からの意見を聞くように努め、連携を大切にした。
- ・コロナの影響で中止、人数を減らすことが2回ほどあったが、9回は実施できた。
- ・役員会主催の「バルーンショー」も開催でき、園児は大変喜び、よい体験となった。

◆未就園児親子遊びのつどい（オープンキャンパスの一環）

~コロナウィルス感染症流行状況で、可能な範囲で実施~

- ・無理ができないことから、実施回数が少なかった。9回/予定16回。
- ・参加人数：4組~17組親子。
- ・内容：制作、プール遊び、運動会ごっこ、お誕生会、クリスマス会、自由遊びほか

◆ホームページ・SNSによる情報提供、広報活動の充実

- ・ほぼ毎日ブログを更新し、保護者に子ども達の様子を伝えた。
- ・未就園児親子遊びの予定表もホームページに掲載。
- ・入園募集時期は、全教職員でポスター掲示などを地域の方にお願ひし、広報活動に努めた。

◆高校生・大学生に対するの広報活動強化

- ・コロナ禍で交流ができず、広報活動ができないことが多かった。

(3) 施設等整備計画

◆園舎改築準備の年

- ・早く実施することとなったため、計画の時間が限られており、特に仮園舎について、建築する場所、工期、費用などの課題があり対処中。理事長をはじめ本部職員の皆様にも支援していただいている。

◆園庭整備の推進

- ・芝生の管理、花壇の整備など印象がよい園庭になるよう努めた。
- ・プランターや園舎横の畑を利用して夏野菜栽培を行い、子ども達が植物の生長に興味を持ち、栽培ができるよい機会となった。

(4) 危機管理

- ・安全点検（園舎・園庭遊具 学期の開始時と終了時 年間6回）、避難訓練（火災・地震・不審者 各2回）、交通安全教室（交通安全指導員来園 年3回）計画通り実施できた。
- ・日頃の“ヒヤリハット”を見逃さないことを共通理解している。

(5) コロナウィルス感染症対策

身体面だけでなく、心(内面)にも目を向け、子ども達とその保護者を支えることを心がけた。

行事等については、できるだけ“ねらい”が達成できるような変更を考えた。

- ・子ども達も検温・消毒・マスク着用・手洗い・黙食など習慣化している。
- ・休園(2日)、学級閉鎖(1クラス1日)をした後、保護者から要望が出された。安全が確認された時点で、預かり保育を実施することを伝えた。また、緊急時の連絡先として電話番号を知らせるなど、改善をした。

(6) 教職員への配慮(働き方改革)

- ・月行事に希望年休日を入れ、計画的に休みをとれるような配慮を行った。
- ・まなざし(学期末の評価票)準備日として、在宅ワーク日を土曜日に学期ごとに設定した。
- ・11月に園長との個人面談実施。(全教職員)
- ・コロナ関係で欠勤せざるを得ない教職員が出るなどが続き、3学期は特に人手不足が続くということが日常で、勤務時間が長くなり、教職員の疲弊があった。職員増員は来年度(2023年度)へ向けても課題となるので、早めに対処していく。

鎮西学院高等学校

◎学院の教育目標	「品性高潔なるクリスチャンジェントルマンの育成」
◎校訓	「敬天愛人」

1. 育てたい生徒像

品性高潔で、自導自治の力を有し、目に見えないものを見ることができるような生徒

2. 目指す教師像

品性高潔で、生徒一人一人を愛し、教育活動を通して人生を教えることができる教師

3. 教育の基本方針

Students First!

自分の面子や建前よりも生徒の思い優先し、本音で接しあえる関係を作る

Believe Your Students!

生徒の可能性を信じ、「どうせ…」 「やっても…」 などのネガティブな思想や発言禁止

We're Touching the Future!

常に生徒・家庭・鎮西・日本の未来を担っている自覚と責任を持つ

○入学者数推移

年度	2017	2018	2019	2020	2021
入学生徒数(全校生徒数)	314 (823)	334 (898)	320 (945)	334 (967)	323 (949)

(所感)

- ・5年連続定員超で、全校定員900名超を維持—県内93公私立高校で2番目の規模
- ・奨学生数はまだ多いが漸減している。
- ・奨学生増及び新学科(公務員・GE)の影響で優秀な生徒が増え、周囲の評価は着実に上昇している。
- ・面倒見の良い学校としての評価が高いが、コロナ禍の影響もあり退学者や転学者も増えていて課題は残る。
- ・特に2年生対馬出身者3名が地元の公立高校に転学したことは残念であった。

4. 教育の5本柱—本校の教育には5つの大きな柱があり、それぞれの観点からまとめてみた。

幅広くて確かな進路保障—国公立大学・公務員・就職の3本柱で、それぞれが目標を達成した。

1) (目標) 国公立大学合格数30名以上(旧帝大1名含む)

—国公立大学等44名合格、うち京都大学1名で目標大きく達成

2) (目標) 公務員合格数60名以上(一般職20名含む)

—公務員合格数81名合格、一般職32名で目標大きく達成

3) (目標) 就職率100%達成(11年連続)

—目標達成

(所感)

- ・これだけ多岐にわたって成績を出しているのは県内で本校だけである。
- ・長崎県庁2、諫早市役所2、長崎市役所2、長崎県警6など一般職公務員32名合格は大いに評価できる。
- ・国公立大学合格者数も過去2番目ので、現役での京都大合格と国立合格増(9→19)は大いに評価できる。
- ・私立大学には188名が合格。中でもキリスト教同盟校の名門同志社・関西学院・明治学院・西南学院等に一般進学コースから多数合格したことや、学校全体としてGMARCHと呼ばれる関東第2グループ3校(学習院・明治・中央)と、関西の4強関関同立に1名ずつ合格者を出したことは大いに評価できる。

盛んな部活動—史上最高の成績を収めた。

1) 運動部—高体連強化校指定 5 クラブ、育成校指定 1 クラブで県内最多

・高校総体—無観客で 2 年ぶり実施、優勝旗 5 本獲得 (県内単独で最多)

優勝—卓球男子・卓球女子・サッカー女子(10 連覇)・バスケット女子(初)・バレー男子(初)
準優勝—駅伝男子・体操男子
ベスト 4—柔道女子・駅伝女子
ベスト 8—サッカー男子・バレー女子

・冬の選手権

優勝—バスケット女子(ウインターカップ)・バレー男子(春高バレー)・サッカー女子(九州で敗退)
ベスト 8—バレー女子・サッカー男子

・新人戦

優勝—サッカー女子・卓球男子・卓球女子・バスケット女子
準優勝—体操男子
ベスト 8—バレー男子・バレー女子・野球

*駅伝は中止

2) 文化部—吹奏楽部が 18 年連続高文連強化校指定

- ・吹奏楽部が県吹奏楽祭で九州総文祭出場権を勝ち取ったが、本大会は中止。
- ・書道部・写真部共に九州総文祭出場

(所感)

これだけの種目に亘って結果を残している学校は県内でも他になく大いに注目を集めた。これらの部活動の躍進は、指導者・選手の努力はもちろんのこと、募集定員確保のために奨学生枠を増やし、力のある生徒が多数入学したことによる波及効果と言え、学校活性化に大きく貢献している。22 年度は駅伝男子・バレー男子で全国レベルの選手が入学しているので、今後 3 年間も同様以上の活躍が見込める。

グローバル化の推進

1) GE コースの革新的取り組みの継続—完成 2 年目、コロナ禍でも様々な取り組みを続け成果が出た。

・3 年生

北九州市立大(2 年連続 4 人目)・学習院大(2 年連続 3 人目)、帝京大、天理大、鎮西学院大等に進学
英検—準 1 級は 6/13 名合格でクラスの約半数が取得、全員 2 級以上取得
G-plan と称して 4 月に壱岐、7 月に島原で SDG s 研修旅行等を積極的に実施

・2 年生

7 月に西海市伊佐ノ浦公園で English Camp、3 月に東京グローバルゲートウェイで英語研修実施
英検—準 1 級 2 名・14/18 名が 2 級以上を取得

・1 年生

上海バイリンガルスクールとの交流を持てなかった。
英検—2 級合格者 8/25 名、実力は確実に付いている。

・3 学年共通—定期的にプレゼンなどを実施している。

2) 留学生・外国籍生徒の受け入れ(年間 15 名程度)

- ・今年度は 37 名でスタート。コロナウイルスの影響で 2 名退学、入学予定者も入国できなかった。
- ・卒業生 9 名中、立命館大・龍谷大・大阪学院大 2 名など日本国内での進学 7 名(2 名帰国)
- ・AFS 日本協会から短期留学生 2 名(マレーシア男子・スリランカ女子)を受け入れ、高評価を得た。

3) 海外の高校・訪問団との交流促進

- ・今年度も昨年度同様コロナウイルスの影響で海外との交流は全て中止。

4) 海外研修への参加

- ・コロナウイルスの影響により全て中止。(個人での短期留学はあり)
- 5) 鎮西学院大学との連携強化
 - ・コロナウイルスの影響により交流は持てなかった。
- 6) 海外修学旅行
 - ・コロナウイルスの影響により国内に変更して実施
 - ・3年生7月に佐賀・長崎方面2泊3日、2年生3月に屋久島・熊本方面3泊4日でそれぞれ実施

ICT化の推進

- 1) 1、2年生が所持するのを機に3年生にもタブレットを貸与し、全校生徒タブレット所持を実現。
- 2) 授業・online授業・課題等の配信・アンケート・諸連絡等に活用した。
- 3) 授業でも積極的に電子黒板を使用する教員が増加した。

⑤キリスト教教育

- 1) 日々の礼拝・修養会・各記(祈)念礼拝・特別礼拝などを通じ信仰心と愛校心を涵養することができた。
- 2) 特に修養会は7月に2年生、3月に1年生を対象として、2泊3日の予定を2班に分けてそれぞれ1泊2日で島原南風楼にて実施したが、生徒たちの満足度は非常に高かった。
- 3) こうした宗教的行事を通して培われる精神的な素養は「品性」をキーワードとしたきちんとした生徒指導と密接に結びついていて、生徒指導事例も激減(年間2～3件)している。
- 4) 生徒たちから「鎮西生として」とか、「立派な鎮西生になる」などの発言を聞くことが多くなり、生徒たちも愛校心や誇りをもって学校生活を送っていることが分かる。反面マナー違反で苦情の電話を受けることも散見された。
- 5) キリスト教への理解も深まり、送辞・答辞を始め、種々の挨拶の中にも聖書を引用する者が多い。
- 6) キリスト教教育は学院の根幹であり、学科やコース・部活動や人種を超えて学校を一つにしている。

5. 教育力のアップと教職員の疲弊感解消・やる気の涵養

教育力のアップ

- 1) 各教科年に一度以上の研究授業をお願いしているが、実施できた教科とできなかった教科があり、外部への研修もままならず、そういう点での教育力のアップは図れなかった。
- 2) FCE エデュケーション社と契約し、授業例や指導法その他の動画を自由視聴できる環境を整えた。

教職員の疲弊感解消・やる気の涵養

- 1) 働き方改革
 - ・月曜日を原則ノ一部活デーに設定・試験中土日の原則練習禁止・時間超過分の早退免の実施
 - ・常勤講師の労働時間見直し
 - ・22年度からの変形労働時間制の導入を目指したが、組合から準備不足との指摘受け1年延期
- 2) 校長面談の実施
 - ・教職員の実情把握やストレス軽減、参考意見聴取などのために10月に実施
 - ・要望や要請を聞き、実現可能なもの、重要度の高いものなどはすぐに取り入れるように心掛けた。
- 3) 活躍を認め合う、称えあう雰囲気醸成
 - ・月曜朝会後に教員持ち回りでWeekly Speechを実施し、和やかな雰囲気ですぐ週間を始められた。
 - ・月1回のノンクリスチャンの先生によるチャペルでの講話を実施。生徒たちはよく聞いている。

6. 問題点の解決に向けた取り組み等

予算の健全化

- 1) 授業料・寮費をアップ(¥1,000/月)
- 2) ICT関係の実費(¥2,500/月)徴収—1、2年生全員
- 3) 授業料一部無償化による奨学費の減少(B奨学生を増やしA奨学生も総数も徐々に減少)

商業科の特色付け

- 1) ICCとの連携を軸にPC関連に特化して強化
- 2) 各学年1クラス体制にして集中的な指導でレベルアップを図るもまだ効果は見られていない。

教室不足・寮の部屋不足(特に女子)

- 1) 宗教室を3G(13名)教室とすることで、何とか現高校校舎に全教室を入れられた。
- 2) 留学生寮は男女整備したが、女子1名のみ本人の希望によりカブリー寮(大学寮)をお願いした。

④各種学校行事の実施

- 1) 実施できた行事—遠足・修養会・修学旅行・学校クリスマス(ハレルヤコーラス)・スポーツ大会
 - 2) 実施できなかった行事—文化祭・体育祭(創作ダンス及び男子ingパフォーマンス発表会を実施)
 - 3) 文化祭の代替として学校クリスマスで文化部発表会を、体育祭の代替でスポーツデイをそれぞれ実施
- (所感) 可能な限りの実施を試みたが感染状況によって中止・縮小せざるを得なかったものがあった。保護者のアンケート等を見ても「実施してほしい」という声が多かったため、22年度は「縮小・延期はしても、中止はしない」ということで取り組んでいきたい。

鎮西学院大学

学校法人鎮西学院 鎮西学院大学 2021 年度事業報告

1. 教学改革の進捗状況

1) 大学名称変更

当年4月1日より大学名称を「長崎ウエスレヤン大学」から「鎮西学院大学」へ変更した。

【大学名称】（日本語名称）鎮西学院大学（英語名称）Nagasaki Wesleyan University

これに伴い、校章や大学ホームページのメインビジュアルの変更を行った。

【新校章】



2) 入学定員の確保

全教職員の努力の成果が実り、コロナ禍にも関わらず、全学科で定員を上回る入学生を獲得することができた。

3) コロナ禍での修学支援への取り組み

- 2021年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症への対応に伴い、学事日程の大幅な変更、インターネットを介しての遠隔授業と対面授業によるブレンディッドラーニングに全学で取り組んだ。
- 国の新型コロナウイルス感染症拡大予防対策、長崎県の休業宣言等を受け、三密回避をはじめとする文部科学省のガイドラインに準拠した教室施設の環境保持に努めながら、学生、授業担当教員の健康状態に十分配慮し、遠隔授業と対面授業によるカリキュラム運営を行った。
- 遠隔授業の実施にあたっては、文部科学省の補助事業により整備した学生用の貸し出しノートPC、タブレット端末のほか、専門人材を配置、G-Suite等の利用方法に関する学生相談はもちろん、教員の遠隔授業の運営上の課題の解決に努めた。更にGIGAキャンパス計画の一環として、昨年度の端末整備に引き続き、当年度は学内のWIFIネットワーク環境の整備を行った。
- 就学支援の一環として、国の助成制度を活用し、新たな修学支援制度が適用されない学生（留学生含む）の学費減免を実施した。
- 特に留学生に対しては、諫早市からの学費減免補助をはじめ、地元ロータリークラブ等、様々な団体・企業から食料品等の支援物資が多く寄せられた。

4) 学生の自己実現に向けたキャリア支援の成果

今春の卒業生の就職状況はここ数年で最も就職率が高く、全学的キャリア支援プログラムの成果が見られた。

【就職・進路実績】

● 就職率

	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
全体	93.6%	91.7%	88.6%	87.2%
社会福祉学科	94.7%	100%	94.8%	86.4%
経済政策学科	97.2%	89.7%	89.5%	92.3%
外国語学科	86.9%	85.7%	82.3%	81.2%

就職者(2021年度) 73人 ※就職希望者 78人／卒業生 93人中

(内訳) 一般企業 59人 福祉関係 14人 公務 3人／県内 30人 県外 17人

- 主な就職先: 長崎県、横浜市役所、海上自衛隊、長崎商工会議所、長崎県央農業協同組合、長崎県農業共済組合、メットライフ生命保険株式会社、ダイハツ長崎販売株式会社、JR九州ホテルハウステンボス株式会社、株式会社ツクイ、社会福祉法人諫早市手をつなぐ育成会、社会福祉法人長崎厚生福祉団
- 進学先(大学・大学院): 福岡教育大学大学院

【資格取得支援】

- 福祉関係国家資格新卒者合格率 ※カッコ内は全国平均

	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
社会福祉士	7.1% (31.1%)	26.7% (29.3%)	50.0% (29.3%)	64.3% (28.9%)
精神保健福祉士	60.0% (65.6%)	66.7% (64.2%)	100% (62.1%)	83.3% (62.7%)
W受験	20.0%	66.7%	80.0%	83.3%

2021年度 社福:1/14 精神:3/5 ダブル:1/5

- 情報処理関連資格(CS検定) 受験者・合格者(人)

	ワープロ 2 級			表計算 2 級		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
2018 年度 集計	27	11	40.7%	9	5	55.6%
2019 年度 集計	12	3	25.0%	3	1	33.3%
2020 年度 集計	41	5	12.2%	2	1	50.0%
2021 年度 集計	38	12	31.6%	17	3	17.6%

- 英語教育

TOEIC

	受験者数(人)	最高スコア(点)
2018 年度	35	805
2019 年度	42	725
2020 年度	69	750
2021 年度	64	870

5) 中退予防

中退率 5%以下を目標として、学科を中心にキャンパスソーシャルワーカー、学生支援課、学生委員会との一体的かつ総合的な学生支援体制のもと、中退予防に取り組んできた結果、2020 年度より少し増えたものの 2021 年度の退学・除籍による中退率は 5%以下であった。

【退学・除籍者数と中退率の推移】



6) 留学生の派遣・受け入れ

4月入学の外国人留学生(編入学含む)、及び再入国許可を得て出国した外国人留学生で、出入国制限やロックダウン等により多くの学生の入国・再入国が困難となった。修学が困難となった学生については、本人の申し出があった場合、休学の扱いとすることとした。

入国・再入国が困難となっている学生の所属する学科のゼミ担当教員は、インターネット通信等を利用し、当該学生の学習の継続可能性等、学生の個別事情に即した修学支援を行い、やむを得ない場合、休学を勧めるものとした。

特に日本語教育プログラム科目等履修生は4月入学予定者約140人については、本年4月末から5月にかけて、入国・入学できることとなった。残りの10月入学予定者約40人についても、秋以降、順次入学予定となっている。

また、派遣プログラムについても、本年2月末からようやく再開することとなった。

2. 地域連携・産学官連携への取り組み

1) 受託事業一覧

【2021年度 受託事業一覧】

調査・事業名	委託元	金額
文部科学省「就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業(就職・転職支援のためのリカレント教育プログラムの開発・実施)ポストコロナの地域経済を支えるイノベティブな中核人材養成を目的としたリカレント教育プログラム事業	文部科学省	42,925,226 円 ※当初契約額
南島原市における大学・高校連携お土産品開発、直売所活性化策に関する研究	南島原市	49,500 円
まちづくり研究室・生涯学習室の運営	諫早市	—

2) 文部科学省委託事業「就職・転職支援のための大学リカレント教育の推進事業」

「ポストコロナの地域経済を支えるイノベティブな中核人材養成を目的としたリカレント教育プログラム」と題して、以下の3つのプログラムが採択され、のべ73人の社会人が受講した。

大村サテライトキャンパスを中心に、雲仙BASE(旧雲仙小学校・中学校)、壱岐いきいきキャンパスの3拠点での対面授業とともに、オンラインによるオンデマンド授業を提供した。

なお、本事業で開発したbのカリキュラムは、「国家戦略・プロフェッショナル検定 食の6次産業化プロデューサーレベル2・3」養成講座として、一般社団法人食農共創プロデューサーズに認定された。

- a ポストコロナの新たなツーリズムをけん引する観光ホスピタリティ・マネジメント人材養成プログラム
- b DXにより加速する農商工連携イノベーションに不可欠なドローンビジネス人材養成プログラム
- c 地域で進展するスマート農業に不可欠なドローンパイロット人材養成プログラム

3) 九州西部地域大学短期大学連合産学官連携プラットフォーム

引き続き、長崎県・佐賀県の国公立大学・短大、自治体、産業界によるプラットフォーム形成事業に参画し、私立大学改革総合支援事業「タイプ3 地域社会への貢献(プラットフォーム型)」に採択された。本学は、プラットフォーム事業において「地域・産学連携系ワーキング・グループ」責任校として、当該事業に積極的に参画している。2021年度は、上記の大学リカレント教育推進事業を始め、福祉教育フェスティバルの開催、長崎外国語大学との人事交流・共同研究に取り組んだ。

3. 学生募集・広報活動の状況

1) 高大連携関連事業

鎮西学院高等学校との高大連携について、「高大連携講座」に年間を通して取り組むとともに、昨年度に引き続き「テイスティング・ウエスレヤン」(3年生対象)を実施し、ゼミの雰囲気を感じてもらい、大学教員や学生との交流を図ることで、本学への理解を深めてもらうことができた。

大村高校が採択されたスーパーサイエンスハイスクール(SSH)の文理融合プログラムの開発と実施についても、継続して基盤教育センターがおこなった。

また、福祉教育フェスティバル(福祉体験成果発表、福祉教育セミナー)は、新型コロナ・ウィルス感染症拡大防止の観点から、会場には集結せずに動画配信をおこない、その模様を収録したDVDを配布した。

2) 学生募集活動

【定員充足率の推移】カッコ内は充足率

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
在籍学生数	343 (59.1%)	349 (60.1%)	411 (70.8%)	475 (81.9%)	548 (94.5%)	608 (104.8%)
1年次入学者数 (内訳)	97 (69.3%)	120 (85.7%)	144 (102.8%)	136 (97%)	166 (118.5%)	175 (125%)
社会福祉学科	20 (40.0%)	23 (46%)	38 (76%)	26 (52%)	50 (100%)	53 (106%)
経済政策学科	41 (82.0%)	42 (84%)	48 (96%)	62 (124%)	62 (124%)	83 (166%)
外国語学科	36 (90.0%)	55 (137.5)	58 (145%)	48 (120%)	54 (132.5%)	39 (97.5%)

※外国語学科は交換留学生を含む

3) 留学生募集

【留学生入学者推移】

	2018年度		2019年度		2020年度	2021年度		2022年度
	4月	10月	4月	10月	4月	4月	10月	4月
1年次	46	17	48	15	37	35	1	16
うち私費	33	7	38	11	32	31	1	13
うち交換留学生	13	10	10	4	5	4	0	3
3年次	4	0	3	7	3	2	0	1
うち三年次編入	4	0	3	0	3	2	0	1
うち短期	0	0	0	7	0	0	0	0
学部生合計	50	17	51	22	40	37	1	17
日本語教育プログラム	51	57	16	72	114	1	0	138
PGMMプログラム	-	-	-	12	-	0	0	0
留学生合計	101	74	67	106	154	38	1	155

※2020年度の日本語教育プログラムは、3月以降、ネパールのロックダウンのため学費入金済の学生数を計上。

4. その他の主な教育研究活動

<2021 年度累積 GPA 学年別平均>

	年度	1 年	2 年	3 年	4 年
平均	2021 年	2.44	2.55	2.70	2.59
	2020 年	2.52	2.59	2.49	2.72
	2019 年	2.4	2.44	2.57	2.5
最高	2021 年	3.76	3.94	4	3.85
	2020 年	3.92	3.89	4	3.95
	2019 年	3.9	3.95	3.8	3.8
最低	2021 年	0.35	0.41	0.57	1.12
	2020 年	0.35	0.67	0.61	1.1
	2019 年	0.02	0.35	0.74	1.24

<学長賞・成績優秀賞>

学長賞・・・卒業時に、4 年間で卒業要件を全て充足し、かつ累積 GPA が 3.50 以上の上位の者、
若しくは学期毎に、20 単位以上を修得し、かつ累積 GPA が 4.0 以上の者。

成績優秀賞・・・学期毎に、20 単位以上を修得し、GPA が 3.50 以上の者。

2018 年度	1 年	2 年	3 年	4 年
前期	7	5	3	0
後期	8	7	5	7+1(学)
2019 年度	1 年	2 年	3 年	4 年
前期	15	8	5+1(学)	0
後期	6	8+1(学)	10	3+1(学)
2020 年度	1 年	2 年	3 年	4 年
前期	15	14	8	0
後期	12	15	6	7
2021 年度	1 年	2 年	3 年	4 年
前期	13	11+1(学)	14+1(学)	0
後期	15	10	22	8+1(学)

<障害学生の在学状況>

	聴覚障害学生	肢体不自由学生	その他	計
2018 年度	0 人	0 人	10 人	10 人
2019 年度	0 人	1 人	11 人	12 人
2020 年度	0 人	1 人	10 人	11 人
2021 年度	0 人	1 人	14 人	15 人

<科目等履修生の受入状況>

	前期	後期
2018 年度	5 人	5 人
2019 年度	6 人	4 人
2020 年度	3 人	5 人
2021 年度	4 人	4 人

(English Communication、日本語教育論、コミュニケーション論、英語翻訳、社会言語学、国際文化交流論、日本語教授法、社会学基礎 等) ※日本語教育プログラム受講生を除く。

<部活動の主な成績>

クラブ名	大会名	結果
卓球部男子	全日本学生卓球大会(埼玉)	シングルス・ダブルス出場: 針尾恭輔、杉内礼恩
	九州学生卓球大会(福岡)	針尾恭輔:5位、 ベスト16 兼島研斗
	みかんのふるさと卓球大会(諫早)	団体優勝
	全日本学生選抜卓球大会(宮城)	シングルス出場:針尾恭輔
	オール西日本卓球大会(広島)	シングルス出場:針尾恭輔 兼島研斗
	全九州予選卓球大会(佐世保)	シングルス通過:針尾恭輔、 ダブルス通過:針尾恭輔,吉田優
卓球部女子	唐津卓球大会(佐賀)	団体優勝 シングルス優勝:山本紘菜子
	ニッタク杯(佐世保)	団体優勝 シングルス準優勝:松浦有優
	長崎県全日本予選(大村)	混合ダブルス優勝:山本紘菜子
	九州学生卓球大会(福岡)	ベスト16:山本紘菜子,松浦有優
	みかんのふるさと卓球大会(諫早)	団体優勝
	オール西日本卓球大会(広島)	シングルス出場:山本紘菜子 松浦有優
	全九州予選卓球大会(佐世保)	シングルス優勝:山本紘菜子
男子バレー部	令和3年度長崎県大学男子バレーボール夏季大会	2敗
	2021年度九州大学秋季バレーボール男子リーグ 福岡大会	2位(4勝1敗)
サッカー部	第44回九州大学サッカートーナメント予選	一回戦敗退 対 熊本学園大学
	三本松杯(鹿児島)	交流戦
	R3年度長崎県大学秋季リーグ	一回戦敗退 対 長崎大学経済学部
	第3回大学サッカースプリングキャンプ in 宮崎	7位/8チーム

スポーツクライミング	スポーツクライミング第9回リト・ユース日本選手権南砺大会	ジュニア女子 19位
	スポーツクライミングシーハットカップ 2021	エキスパートクラス 11位
	スポーツクライミングジャパンツアー 2021 ホルダリング第2戦	女子 17位
	スポーツクライミングジャパンツアー 2021 ホルダリング第3戦	女子 14位
	スポーツクライミングジャパンツアー 2021 ホルダリング第7戦	女子 41位
	第9回NFAクライミング選手権	マスタークラス 33位
	スポーツクライミング第7回ホルダリングユース日本選手権 倉吉大会	ジュニア女子 16位
WJE ウエスレヤン ジャズアンサンブル	・オープンキャンパス(7/22・8/8・3/19)	
	・おおむらグルメフェア(10/31)	
	・ステーションフェスティバル(11/6・7)	
	・シュガーロードラッピングトラック出発式(11/15)	
	・唐津ロータリークラブ65周年記念式典(11/16)	
	・こうじろフェス(11/28・2/27)	
	・大学点灯式(12/3)	
	・大学ミュージックフェス(12/11)	
	・長崎県アンサンブルコンテスト(12/26)	金賞
	・春の収穫祭(3/13)	
・ジャズフェスティバル(3/27)		
コーラス隊	・ピースアワーでの発表会(12/14.15)	
アコースティック サークル	・ピースアワーでの発表会(11/30.12/1)	
ぶっく倶楽部	・即興ビブリオバトル(4/9)	
	・チームビブリオバトル(6/19)	
	・全国大学ビブリオバトルオンライン大会予選(11/11)	出場者: 佐々木広太郎、 古賀悠大、田中大空、 前田喜充、寶子山海
	・交流ビブリオ(11/29) (諫早特別支援学校・佐世保特別支援学校)	
・全国大学ビブリオバトルオンライン大会準決勝 (12/11)	出場者: 前田喜充	

<学術研究>

個人研究費の配分状況

2021年度の個人研究費については、財務逼迫の折、昨年同様150千円の配分となった。

科学研究費助成事業の獲得状況

「2021年度科学研究費助成事業」の継続課題は、科学研究費助成金2件と学術研究助成基金助成金2件。また「2022年度科学研究費助成事業」への申請件数は5件、採択は0件であった。

5. ロング館耐震改修工事について

大学ロング館耐震改修工事が12月末で無事終了し、竣工式を執り行なった。

(事業経費の1/2は国、更にその半額を地元諫早市より助成)

以上